

ザンビアの橋梁・ダム補修へ 横浜市内企業のエポキシ樹脂技術が貢献！

国際協力機構 (JICA) は9月24日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 (2020年第一回募集)」においてアルファ工業株式会社 (神奈川県横浜市、大井川 幸彦代表取締役) が提案する「ザンビア国エポキシ樹脂を活用したコンクリート構造物補修に関する案件化調査 (仮称)」を採択しました。

ザンビア国は、産業発展に欠かせない交通網や電力などの経済インフラが脆弱であり、基礎インフラの整備・強化が必要とされています。このような状況のもと、特に橋梁の老朽化による落橋対策、ダムの延命化による電力の安定供給、コンクリート構造物のオフィスや商業施設の延命化などが大きな課題です。



天井面ひび割れにも浸透 (エポキシ樹脂補修材)



ザンビア国の橋台コンクリート脱落の様子

一般的にコンクリートの耐久年数は約50年と言われており、ひび割れからの水分侵入や空気中の二酸化炭素の侵入により耐久年数が短くなるため、発生したひび割れを早期に補修することが必要です。提案製品であるエポキシ樹脂補修材は、塗布するだけで壁面や天井面にも浸透する施工性を備える補修材であり、従来のひび割れ補修と比較すると、工期が約1/3に短縮され、総コストは約1/5程度に削減されます。また、0.2mm以下の微細なひび割れにも浸透接着できることで、早期の微細なひび割れの段階から補修でき、コンクリート構造物の長寿命化を可能にしました。

今回の調査では、首都ルサカを中心にザンビア国の広い範囲で橋梁やダムなどのコンクリート構造物を対象として、製品・技術の現地適合性の検証やデモンストレーションなどを行う予定

です。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発課題と日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2020 年第一回分は本年 6 月に公示を行い、全国で 25 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を開始します。

【関連リンク】

各スキーム概要 https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

中小企業・SDGs ビジネス支援事業 採択案件 https://www.jica.go.jp/press/2020/20200924_10.html

【本件に関する問い合わせ先】	日本の元気を世界の元気に 世界の元気を日本の元気に JICA 横浜ウェブサイト https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html
JICA 横浜 総務課：中小企業・SDGs ビジネス支援担当 菊池、橋本、大島 TEL：045-663-3252 Fax：045-663-3265 e-mail：yictad@jica.go.jp	